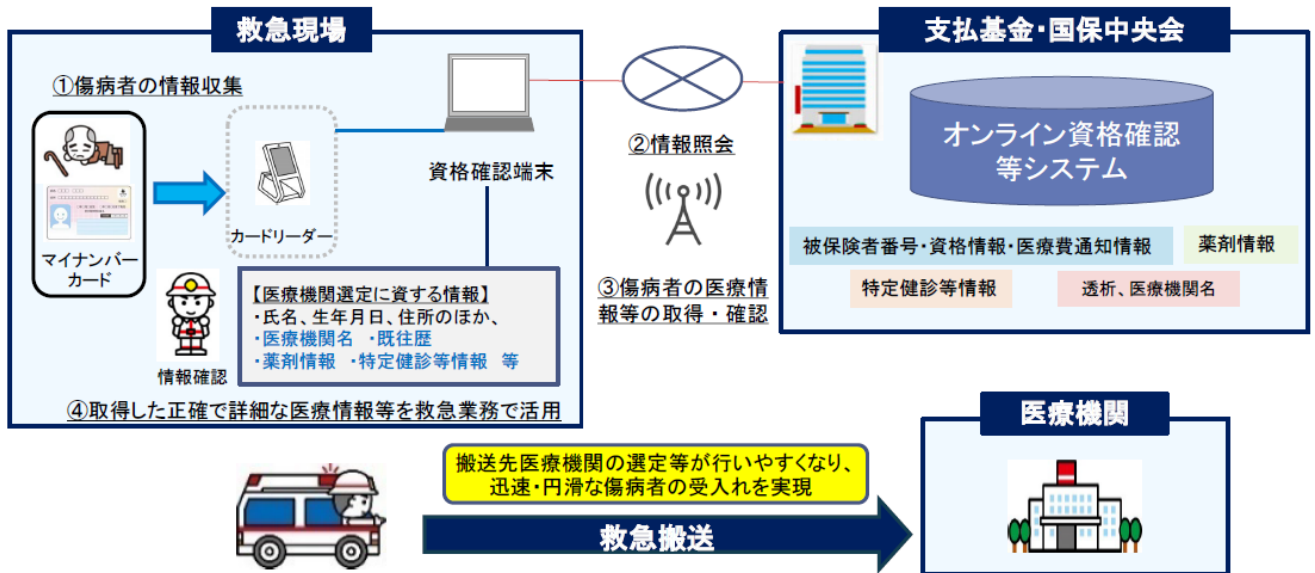


## 総務省消防庁による「マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化」に向けた実証実験について

総務省消防庁による「マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化」に向けた実証実験については、全国からの公募による選定の結果、本市でも実施することとなった。この度、国・市の結果を取りまとめたので、次のとおり報告したい。

### 1 実証実験の概要

健康保険証利用登録をした傷病者のマイナンバーカードを活用して、オンライン資格確認等システムから搬送先医療機関の選定に資する情報を入手することにより、救急業務の迅速化や円滑化を図ることを目的に実証実験を実施し、その効果等を検証するもの。



### 2 消防庁の実証実験結果

#### (1) 実施消防本部

6 消防本部（姫路市、熊本市、前橋市、都城市、彦根市、加賀市）

#### (2) 実証実験結果

全出動件数	救急隊長の判断	マイナンバーカードの所持	健康保険証利用登録の有無	本人同意の有無	データ閲覧
9,599 件 (100%)	5,863 件 (61.1%)	1,310 件 (13.6%)	295 件 (3.1%)	258 件 (2.7%)	254 件 (2.6%)

対象者のうち約 87%が同意

#### (3) 分析・検証結果

- 対象者のうち、9 割近くが同意している現状を踏まえると、今後マイナンバーカードの交付等が進めば、更なる活用が見込まれる。

- ・ 特に機器の習熟が不十分な初期の段階では、現場滞在時間が長くなっていった。マイナンバーカード活用の有無により、現場滞在時間に差が生じないよう、操作の簡素化を図る等、対応を工夫する必要がある。
- ・ 高齢者の搬送が高い割合を占めており、今後、高齢者割合が更に増加することを見据えると、口頭による情報収集が困難な傷病者に対して、本事業は有用性が高い。
- ・ 消防機関、医療機関ともに主に既往歴、薬剤情報、診療情報に有用性を感じていた。これらの意見を踏まえ、救急隊が求める情報を迅速に確認できるよう、閲覧画面の構成等を検討していく必要がある。

#### (4) 今後の方向性

マイナンバーカードを活用した救急業務のシステムについては、実証実験を通じて高齢者等に有用性が高いと見込まれることから、早期に全国展開することを目指し、今後、システムの構築等に関する検討作業を加速することとしてはどうか。

## 2 姫路市の実証実験結果

### (1) 実施期間及び対象

- ① 実施期間：令和4年10月24日から12月23日まで
- ② 対象：消防本部が指定する5つの救急隊の全救急搬送

### (2) 実証実験結果

全出動件数	救急隊長の判断	マイナンバーカードの所持	健康保険証利用登録の有無	本人同意の有無	データ閲覧
1,936件 (100%)	実施可 1,618件 (83.6%)	所持 369件 (19.1%)	登録あり 105件 (5.4%)	同意あり 84件 (4.3%)	84件 (4.3%)

対象者のうち80%が同意

### (3) 奏功事例

50代男性 痙攣発作	本人の訴えが傷病により曖昧であり、通院中の病院・服薬の情報が明確でなかった。マイナンバーカードの情報から、痙攣を起こす疾患及びかかりつけ医が判明し、医療機関との情報共有ができ、収容依頼をスムーズに行うことができた。
80代男性 下腹部痛	視覚障害があり耳が聞こえにくい傷病者であったが、情報閲覧により正確な情報収集が行うことができた。

### (4) 今後の方針

- ・ 姫路市消防局管轄の事例を分析し公表するとともに、これらの結果を踏まえ、マイナ保険証の活用推進を進めていく。
- ・ 消防庁から、実証実験を全国展開するためのシステム化に当たっての協力要請を受けていることから、救急医療現場での聞き取りや検討など引き続き協力していく。